

自信持ってシャッター切ろう



動物写真家
前川貴行さん

【持ち物】長袖、長ズボン、歩きやすい靴、帽子、水筒、タオル、カメラ。必要な人は、日焼け止めや虫よけスプレー。保護者は救急用具、携帯電話など。

【マナー】立ち入り禁止の場所に入らない。公園などでは動植物は持ち帰らず、写真を撮って観察しよう。

【注意】マムシやハチなど毒のある生き物に注意。事前にどんな場所か下調べを忘れずに。



カメラの取り扱いを教える
前川さん（右）



白比野菜奈さん（神奈川県・4年）
ミミズ。こんなに大きいミミズがすめる、いい環境なんだと思いました。いじめたり、すみかをつぶしたりしてはいけないと思います。

前川 足元のミミズに気づかせてくれました



西尾優杜さん（東京都・5年）
アオドウガネ。背中の色がきれいに輝いていました。よく扇をする虫で、僕も手に扇をされました。昔の里山には放置された倒木は少なくて、キノコも少なかつたはず。でも今は倒木も多くの虫にも役割がありました。

前川 指にのせて撮った、技ありの面白い写真。なかなかやるな！



みんなの目のつけどりに安心

手入れする人がいなくなり、里山にはいろいろな問題があります。いち番心配なのは、人が里山に無関心になることで

岩本さんは「増えているんですか」と質問してくれました。昔の里山には放置された倒木は少なく、キノコも少なかつたはず。でも今は倒木も多くの虫にも役割がありました。それをそのまま撮り上げました。

前川 大人が見落としがちな部分にも注目し、里山のことを発信してくれたことがうれしかったです。

里山で見つけた宝物、パチリ！



●里山観察に出かけよう●

【持ち物】長袖、長ズボン、歩きやすい靴、帽子、水筒、タオル、カメラ。必要な人は、日焼け止めや虫よけスプレー。保護者は救急用具、携帯電話など。

【マナー】立ち入り禁止の場所に入らない。公園などでは動植物は持ち帰らず、写真を撮って観察しよう。

【注意】マムシやハチなど毒のある生き物に注意。事前にどんな場所か下調べを忘れずに。

企画・未来を見に行こう「こども会議編」
（今井尚、寺村貴彰、八木みづり）

未来について読者と取材し考える朝小50周年は人が関わることで保たれてきた自然「里山」で開催しました。みんなは美しい、きれいなどと感じた「宝」を写真で発表し、それを100年後の子どもたちに伝えるにはどうしたらいいかを話し合いました。

東京・八王子の長池公園



ユータウンの中に残された山です。約20ヘクタールの里山は、1970年代を中心開発された多摩二

東京都八王子市の長池公園は、1970年代を中心開発された多摩二

園長の内野秀重さん

と、朝小で「生きもの

の地球」を運載（隔週日

曜）する動物写真家の前

川貴行さんといっしょに

て公園内を歩きました。

道。最初の500メートル

スマートフォンは小さ

な生き物にぐっと近づい

ます。前日から降り続い

た雨が上がり、葉っぱ

がった花を見つけるから

です。前日から降り続い

た雨が上がり、葉っぱ</